



●特集●

気になるこの人にインタビュー…1~2

水戸子どもの劇場事務局スタッフ

シリーズ 内向タイプという生き方 ……3

「エヴァンゲリオンは助けに来なかった」

県立高校教諭 森 俊博

親の甘茶が毒になる ……4

茨城大学大学院 金丸隆太

ココロノアリカ vol.21 ……5

「当たり前」の難しさ

水戸南高等学校 定時制同窓会会长 宮田 哲郎

立会い出産 ……6

ほっと!HOT!スクウェア「イクメン講座」より

大内 清志

よしこの世界一周大冒険!! ……7

杉野美子

うろ覚え選手権 ……8

サザエさん?!

水戸子どもの劇場より ……9

毎月の活動紹介

その他のお知らせ ……10~11

事務所MAP

訪問型病児保育のご案内

寄附のお願い

広告

発行：認定NPO法人 水戸子どもの劇場

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

URL <http://www.mito-kodomo.jp/>

メルマガを発行しています。



気になさる

このひとにインタビュー～

水戸子どもの劇場 事務局スタッフ（パート1）

最近バーマ
かけ
イッシュ!!

現在の趣味・好きなこと

ヨガ、ウクレレ、ワンオクを聴いたりライブに行ったり～♪

あてきな
笑顔で
むかえて
くれます～



Oさん

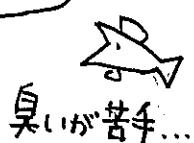
好きな食べ物

1位?

からあげ、ギョウザ、ビール、チーズ

嫌いな食べ物

さかな



臭いが苦手...

骨があつめんどう～

生い立ち

生まれは？・・・茨城県出身です（田園風景広がるところ）

兄弟は？・・・7つ上の兄と4つ上の姉の三人兄弟の一番下です。

どんな子ども時代でしたか？・・・外で、ドッジボール、鬼ごっこ、ドロ刑、鉄棒などで遊んでいました。それと、近所に本がたくさんおいてある農家の我が家がって、勝手に入って読んだり借りたりしていました。

好きな教科は？・・・図工！！

大らかなおうちの方でしたね～え、勝手に！？



好きなアーチストは？・・・吉川晃司、プリンセスプリンセス、中村あゆみ

ハマってたマンガは？・・・別冊マーガレット

ハマってたドラマは？・・・世界の料理ショー、モンキーズ

なつかし～私もみてた！



クラブ活動について

小学生・・・バトン部

中学生・・・テニス…ほぼ行ってません

高校生・・・軟式野球のマネージャー

文芸部

チアサークル

年1回
旅行に行ける
というので
入りました。
1回行って
やめました！

野球やサッカーの応援の
時期に募集があり
参加しました！

合宿所に泊まるといでの
楽しそうなので入りました。



•好きなアーチスト•
今は“ONE OK ROCK”!!
(略してワンオク)

大好き～!!



お仕事について

職歴・・・事務、サービス業、飲食店 etc・・・数々の職種をこなし

水戸子どもの劇場事務局スタッフへ

キター!! ようこそ



○事務局スタッフになってどうですか?・・・いろいろな人と話ができるのが楽しいです。

OL 時代の趣味は?・・・いけばな、エアロビ、フラワー・アレンジメント

いけばなは向いてないと思いました

結婚&育児

高校の同級生のご主人と結婚、その後育児（女の子1人、男の子1人のお母さん）

結婚から〇年後、ご主人の両親と同じ家に住むことに。

育児中はお菓子教室に通いました。ケーキ焼けます～



水戸子どもの劇場の中で関わっていること

事務局業務、放課後子ども教室、CAP（スペシャリストです!!）、ウクレレサークル

今後の目標

子どもの暴力防止プログラム

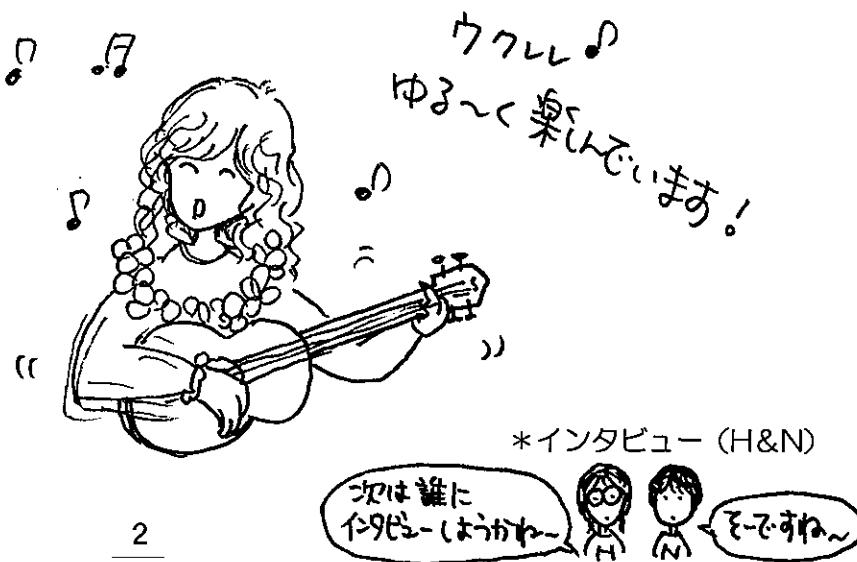
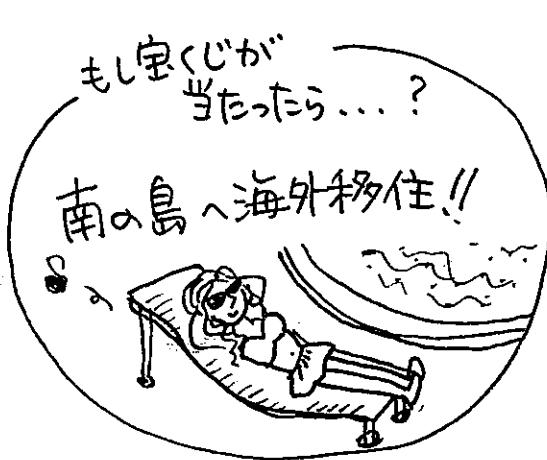
スペシャリスト!! さすがー



水戸子どもの劇場の中には、たくさんの活動があるので、今まで自分には関係ないと思っていたことでも、ある時期になると興味が湧いたりします。

ウクレレもそのひとつ。なんとなく聴こえてきた音色に癒され、生まれて初めて楽器に挑戦してみました。月1回のサークルですが、今ではだいぶ弾けるようになりました！

これからも関わっていく中で、また何かに出会えるかもしれません。



シリーズ「内向タイプという生き方」
エヴァンゲリオンは助けに来なかった
県立高校教諭 森俊博

庭の芝生が伸び放題でみつともないと思っていたが、残暑がなかなか収まらずできていた。そして秋も深まり、汗もかきそうにないある日、やっと庭に出て芝刈りをした。そして芝刈りを終えて、丸刈りになった野球部員の頭のようなさわやかな庭を見ていた時、ふと視野の片隅に切り株が映った。

マンションに住んでいた時に欲しかったのが、洗車ができる駐車スペースと庭の植栽だったので、一戸建ての住宅を手に入れたときには喜び勇んで植栽を庭の周囲に植えたのだった。しかし、成長が早いものが多く、このまま放置していたら始末が悪いと、株立ちの場合は時々太い幹を切ったりして全体が大きくならないように気をつけるなど、あれだけ欲しかった植栽も庭の芝生も結構手間がかかり面倒なものであると改めて知ったのであった。

また、コニファーの類も巨大化しそうな雰囲気だったので、潔く根元から切り倒した。そのうちの一つが今回目に付いたのだ。本当は根こそぎ掘り出したいところだったが、人力では難しく自然に腐って消えるのを待って放置していたのだった。そこで改めて今回よく見てみるとかなり腐ってきていたので、足で押して揺らしてみた。すると、結構グラグラする。面白くなり、今度は強く蹴つてみた。すると、幹の一部がくずれて中から蟻の塊がどさっと落ちてきた。いつの間にか蟻の巣になっていたようである。

巣を失った蟻たちは右往左往の大騒ぎ。このまま巣を求めて我が家の中にまで入ってこられては困ると考え、今度はこちらが慌てて家に戻って蟻用の殺虫剤を捜し始めた。すると、妻が何をしているのかと聞いてきたので、その理由を答えると、そのままにしておけばいいと言う。なるほど、無駄な殺生はしない方がいいかと思い直し庭に戻ってみると、もう蟻の姿はなかった。どこへ行ったかとまた巣を蹴つてみたら、また中から出てきた。せっせと元の巣の修復をしていたらしい。

それを見ているうちに、蟻のうろたえるのがおもしろくて、何度か株を蹴つてみた。なんだか、「エヴァンゲリオン」に出てくる使徒が自分に乗り移ったようだった。首都の高層ビル群を破壊したくなるような自分の無意識の中にいる攻撃性にぞつとして蹴るのをやめたが、一方で

使徒がなぜ地球を襲うのかは、このようにただ単に破壊が楽しいからではないかとも思った。

いや、その攻撃性の奥には、今までにため込まれてきた不満や悲しみ、そして満たされない思いなどが潜んでいるのかもしれない。

そこで思い出したのが『旧約聖書』の神による人間への罰である。アダムとイブの楽園追放、ノアの方舟の大洪水、バベルの塔の破壊など、人間が神を畏れなくなった戒めに行われたものかもしれないが、結構神は気まぐれに、楽しくて人間を懲らしめていたようにも見えるしなぜ私を信じないのかと悲しみ怒っているようである。

キリスト者であった遠藤周作は、『沈黙』の中で隠れキリスト教の弾圧下、リンチに遭っても棄教せず苦しみに耐える人間を登場させ、どうしてこんなに頑張っている自分に神は何も言ってくれないのだと嘆くシーンを描き込んだ。蟻たちもさぞかしそんな気持ちかもしれない。

たびたび災害に遭う人たちと同じ思いである。寺田寅彦は「天災は忘れたころにやってくる」と言った。天災によって何度も街や村を壊されてきた人間も、やっと作り上げた巣を一瞬にして小生に壊される蟻も、同じ構造による悲劇を味わっていると言えるだろう。まるで八つ当たりの弱い者いじめのようでもある。いじめのフラクタル構造ではないかと思うに至ってやっと蟻をいじめるのはやめた。

それでも、壊す方があきれるくらい蟻は無心に巣を修復し続ける。度重なる震災にも諦めず、人も復旧・復興に汗を流し、日常を取り戻そうとする。そのたくましさたるや、絶句せざるを得ない。

鴨長明の『方丈記』では、川の流れはいつも同じように見えるが、内容は入れ替わっていると言う。街全体も家屋があちらで壊れてもこちらで直して、人もあちらで死んではこちらで生れてを繰り返しているという。

無常観という言葉でこの榮枯盛衰の虚しさは説明されるが、それとは別に、永遠の繰り返し、限りない日常という文脈でもこの状況は説明できそうである。

そこで連想するのが、福岡伸一の「動的平衡」というアイデアである。生命はその中の古い細胞が死んで、新しい細胞が生まれるという流動性の中でバランスを取りながら存在しているというのだ。まさに蟻の巣や人間の震災からの復旧・復興のようではないか。神の意図や使徒の気まぐれという不条理に耐え、人類を始めとして生物は、神や使徒が根負けするぐらい日々として日常を繰り返すという対抗策をとっているのかもしれない。

親の甘茶が毒になる

茨城大学大学院 金丸隆太

今年のゴールデンウィークは10連休です。前半は平成、後半は？？元号をまたぐこのホリデーシーズン、皆さんはどう過ごされる予定でしょうか？海外旅行に行かれる方も多いでしょうか？私は海外旅行には苦い想い出があります。スリ被害です。もう20年以上前、イタリアのナポリで観光していたとき、ベンチで地図を見ていたら、警官が二人走ってきました。バッジを見せるやいなや英語で「お前はスズキか？」と怒りながら聞くのです。違うと答えると「スズキという日本人の偽札犯を追っている。お前らは仲間じゃないだろうな？念のためにパスポートを持っているイタリア紙幣を確認せろ。」とすぐります。言われるがままにパスポートと財布を渡すと、丹念に紙幣をチェックし、偽札がないことが分かると財布を戻しながら「スズキに会ったらすぐに警察に知らせろ。」と言って警官は去りました。

警官から偽札犯の疑いをかけられ、危うく外国で逮捕される恐怖から解放されてほっとしたのもつかの間、変だなと思い財布を確かめたら、高額紙幣だけ見事に抜き取られました。ユーロもまだなく、イタリアの通貨がリラだった時代のこと。10万リラや50万リラといったやたらに桁の多い紙幣もありました。それぞれ当時のレートで6千円とか3万円とかです。どんなに思い返してもお札を抜き取る仕草はなく、それはそれは手品師も驚きの、実に巧みな手先の技術でした。海外旅行慣れしている方はご存じでしょう。今でも外務省のウェブサイトに載っている古典的な偽警官によるスリの手口です。海外に行かれる方はご注意下さい。

その後、心理学者の端くれとなつた私としては、なぜこの手口に引っかかったのかを分析したいところです。しばしおつきあい下さい。まず海外でスリには気をつけています。むしろ気をつけすぎています。パスポートなんて、お腹に巻いていた筈です。スリなどの悪人はひどいヤツだとスラれる前から憎んでいるところへ、突然の警官の登場。まさかの偽札犯嫌疑。悪人に敏感になっている状況で「自分はスリ以上に悪いやつだと思われている」と思われることで、簡単に気持ちのスイッチは「まずい！無実を主張しなければ！逮捕されて絶対に日本に帰れない！」という強烈な不安モードに切り替わりました。今思えば警察バッジだって偽物でしょうが、本物を知らないのだから疑いようありません。しかもここまでにいまひとつ英語が伝わらない経験をしていて、イタリア人は観光地の店員以外はあまり英語を話さないなあと思っていました。警官が外国人に合わせて拙い英語を使ってくれている状況で、「何とか英語で無実を伝えなければ捕まる！」という英会話への強い焦りが生じました。学

校で「これはペンです。」は教わりましたが、「私は偽札犯ではありません。」は教わっていません。アメリカ旅行から帰ってきた友だちに聞いた笑い話

「アメリカ人が早口で何言ってるかわからなかったから、必死になって昔英語の先生が言っていた『繰り返して下さい』を思い出して、『リピート・アフター・ミー』って言っちゃったよ。」という、今また役に立たないエピソードが思い出されたりします。こうしてまんまと偽警官の手のひらに乗せられ、最後は偽札犯の疑いが解けてホッと安心するところまで転がされました。

人は不安になると、安心を求めて必死になります。心理学的にはそこが核心です。話は変わりますが、パチスロ依存の研究で、依存者は当たりの喜びを求めて依存するのではなく、リーチになって、当たるかどうか不安になり、目が揃って安心することで依存していくというものがあります。不安から安心というプロセスは、人の行動をわしづかみにする強い力があるのです。

様々な詐欺の手口に、このプロセスが使われています。人間の心理を利用した成功率の高い手口です。もうおわかりでしょう。いくら啓蒙活動をしても減ることのないオレオレ詐欺が、現代の代表的な不安一安心詐欺です。息子が危機に陥っているという状況は、親を猛烈な不安に追い込みます。こうなると安心を求めて、必死に行動してしまうのです。人は不安が極度に高い状況で、報道を思い出したり、状況を客観的に見つめたりすることは出来ないです。オレオレ詐欺を未然に防ぐのは、たいていの場合無関係の人です。タクシーの運転手、銀行の係員。自分の息子のことでなければ、おかしいなと思えるのです。しかし悲しいかな、こういった人に指摘されても不安から抜け出せないほど、息子の心配は強いのです。被害者の約3割が、詐欺じゃないですかと注意されても、突っ走ってしまったそうです。

みなさん、よく考えて下さい。なぜオレオレ詐欺はあるのにワタシワタシ詐欺はないのか。世の親は息子の心配はするのに、娘の心配はしないのでしょうか？ いえ違います。多くの場合、娘のことは信用しているけれど、息子のことは信用していないのです。「うちの息子ならやりかねない」と、どこかで常に、怪しんでいるのです。これが優しさと混ざっているから難しいところです。本当の優しさは、子どもの力を信じることです。例え会社のお金を使い込んだり、交通事故で大きな損害を作ってしまったとしても、それは自分の力で何とか出来ることを信じてあげて下さい。詐欺ではなく事実なら助けてあげた方が良いのかというと、そうでも無いのです。もう大人なのですから。

「ココロノアリカ」vol.21 『当たり前』の難しさ

宮田 哲郎(水戸南高等学校 定時制同窓会会長)

10月から元の職場に復帰したのだが、年明け1月からまた療養休暇を取ることになってしまった。適応障害の症状が再発し、全身倦怠感による起床困難や気分不良が身体を襲う。どうやら気付かぬうちに頑張り過ぎたらしい。発達障害の影響によって『自己管理が難しい』という苦手が、またしても大きな壁として立ちはだかった。

一ヶ月間のトレーニングを経て本格復帰したが、実際に一人で勤務してみるとやはり思うようにいかなかつた。始めのうちは何とか業務をこなせたものの、徐々に複数のタスクが重なるにつれて対応できなくなつた。たくさんの情報が次々と頭の中に積み重なり、マルチタスクを苦手とする自分の脳内は瞬く間に圧迫されて、とても処理が追いつかない。

さらに、オーバーヒートしている脳みそは同僚や上司の言葉をうまく理解できず、相手との話が終わった後、パソコンに会話の内容を打ち込んで、それを繰り返し読むことでやっと理解することが出来る状態。五分で済むやり取りに三十分かかり、三十分で済むタスクの整理に二時間かかり——。

十数年勤めてきたはずの仕事なのに全く対応が出来ず、自分のキャパシティはあつという間に飽和状態になっていった。

こうした状況を主治医に相談すると、処方薬の種類を増やしながら調整していくことになった。しかし、これも副作用などが相まって調整がうまくいかない。過剰に覚醒して不眠になってしまったり、食欲が増進して糖尿病に影響してしまったり・・・。めまいや眠気に悩まされることもあった。そういう間にも仕事はどんどん積み重なっていく。でも自分の身体が言う事を聞かない。仕事は待ってくれない。その状況でどうやって助けを求めて良いかもわからない。こうした悪循環を何度も繰り返すうちに、ついには適応障害の再発に繋がってしまった。

復帰当初から仕事先や関係機関と情報交換をしながら、様々な面で合理的配慮はしてもらった。別室での業務や電話・来客応対の免除など、お堅い職場では異例の対応をお願いしつつ、自分も何とかその配慮に応えられるように心掛けたつもりだ。しかし、結果的に自分が頑張り過ぎて適応障害が再発してしまったということは、その擦り合わせは充分には出来ていなかつたということだ。障害者と健常者が共に働くことの難しさを痛感した。

日本における社会の大多数の仕組みは『健常者の当たり前』で構築されている。今回復帰してみて、普通は『当たり前』にこなせる業務でさえ、自分にはと

ても高いハードルだった。「ならハードルを下げれば良いだけ」と言葉にするのは簡単だが『当たり前』のラインを下げるることは尋常ではなく大変だ。なぜなら、その『当たり前』は健常者にもギリギリの高さに設定してあるからだ。頑張ればこなせるとか、努力すればやり遂げられるとか、残業や休日出勤をすれば達成できるとか、そういう類のモノばかり。ただでさえギリギリで余裕の無い状況なのに、そこで誰かのハードルを下げるということは、他の誰かのハードルを上げるということでもある。ここに、日本における障害者雇用の難点が集約されているのではないだろうか。頑張ればすべてをこなせるわけではない。特にハンデを抱えている人にとっては頑張れる限界がある。しかし余裕のない日本の社会では、頑張ってその『当たり前』をこなすことを求められる。こなせなければ『仕事が出来ない人』と厄介者扱いされてしまう。公の団体による障害者雇用の水増し問題などが世間を騒がせたが、こうした背景が影響しているのではないかと勘織りたくなってしまうのも無理はない。

自分は障害者であることに甘えたいわけでは無い。ただ仕事をする以上は少しでも職場に貢献できる形にしたいし、職場に及ぼしてしまうしわ寄せも可能な限り最小限にしたいだけだった。だが、現状では合理的な配慮にも限界があって、自分がそこに存在しているだけで『大迷惑』になってしまう。あっちにも迷惑をかけ、こっちにも迷惑をかけ。これがとてもやるせなかったし、頑張り過ぎるには充分な理由だった。

人間誰しも生きている以上は何らかの形でお金を得て、生活を成り立たせる必要がある。少しでも生活を豊かにしたいし、何より生きていきたいからこそ、働き続けたい。でも『健常者の当たり前』で構築された社会の高い高いハードルは、その思いを簡単には許してくれなかつた。どうしていけばこの大きな隔たりを埋められるのだろうか。自分ひとりの考え方だけではどうにもならないし、どんな工夫や交渉を重ねていけばよいのかまだ見えてはこないが、これからも一つずつクリアしていきたい。

特別な事をしたいわけではない。ただただ普通の生活を送りたいだけなのだ。



働くって、難しいなあと痛感した三ヶ月間でした。少し休んで身体が言う事を聞くようになったら、また働くかどうかチャレンジしてみたいと思います。まだまだこれからも生きていきたいから。

「立会い出産」

大内清志

ほっと！HOT！スクエア「イクメン講座」より

今回のテーマは、「立会い出産」です。

身近な人がお産に付き添う「立会い出産」
どれくらいの割合で行われているのでしょうか？

厚生労働省の支援する研究の一つとして発表された「母親が望む安全で満足な妊娠出産に関する全国調査」という調査結果があります。

このなかで、立会い出産についての調査もされています。この調査は、2011年8~12月の間に行われたものだそうなので、今から7年前の調査ということになるのでちょっと古いですけどね。

誰が出産に立会ったかの項目では、「夫」53%、「親」12%、「その他」5%、「誰もいない」41%（複数回答あり）という結果に。

帝王切開の人を除くともっと夫の立ち合いの割合が上がります。帝王切開の場合、病院によっては立会できないことが多いみたいなのでね。半数以上の人人が夫の立会いで出産しています。4割の人は誰も立ち会わないので出産なんですね。

さらに前にの2006年調査では、やはり「夫」の立会いがいちばん多く39%でした。

ただ、このデータは帝王切開を除いたデータなので全体ではもうちょっと下がることを考えると2006年から2011年の5年ほどの間に夫の立ち合い出産が2割も増えたことになります。

立会い出産は増えているということでしたが、立会いのなかった出産も少なくありません。4割の人は立ち合い出産をしていないわけです。その理由にはどんなものがあるのでしょうか？

「産婦が希望せず」50%、「その人が多忙」14%、「その人が希望せず」11%、「医療側の理由」10%

出産をする女性の半数と、夫など立会う人の1割が、立会い出産を希望していないというわけです。

夫が付き添うことを産婦が「恥ずかしい」と思ったり、夫自身が「出産に立会うのが怖い」と思ったりっていうことなのでしょうね。

また、実際に夫が立会った経験のある女性からは、「立会おうという気持ちはうれしかったけど、失神して病院に迷惑をかけた」「立会った夫が役に立ったかというと、いまいちよくわからない」という声もあったそうです。いない方がよかったです。うケスもあるんですね。

「医療側の理由」というのは、病院側が認めていないというものです。まあ、病院からしたら邪魔なんでしょうけどね。でも、2006年調査だとこの「医療側の理由」は21.2%だったので、およそ半分に減っ

ていることがわかります。

とくに、大学病院と一般病院で改善されているそうで、なるべく出産する人たちの希望を受け入れようとしているようです。

日本での立会い出産の歴史は50年ほどなんですって。それより前は自宅で出産する人が多かったわけで、新しい命の誕生を共有することは珍しいことではなくて、むしろあたりまえのことなんじゃないかと思います。

私は子供が4人いますが、一人目が病院での立ち合い出産で、2人目は助産院でした。助産院では私も出産を手伝いましたよ。3人目4人目は自宅出産です。家族みんなで出産をサポートしました。

出産は女性だけ大変な思いをするわけで、立ち会うことでも多少不公平感が薄まるかなという思いもありますし、男性としては「パパスイッチ」が入りやすくなるんじゃないかなと思います。

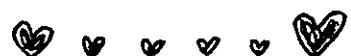
女性は、おなかの中に10か月も一緒にいて大変な思いをして生むわけですから「ママ」の自覚を持ちやすいと思いますが、男性は生まれてから急に「パパ」になっちゃう感があるので自覚を持ちにくいんですよね。

立ち合い出産だと「パパスイッチ」が入って自覚を持ちやすい気がしますし、出産が大変なことなどと実感することで奥さんにやさしい気持ちで接することができるようになるんじゃないかと思うんです。というわけで、私は立ち合い出産お勧めします。ただ、血を見るのが苦手な人もいると思いますので、無理はしないように。病院に迷惑かけて残念な感じになっても困りますからね。魚をさばいたりして、血に慣れておくのもいいかもしれません。

それから、両親学級などで出産について事前の勉強はしておいたほうがいいです。いざその場でおろおろしてしまっては「情けない男ね」と思われてしまします。

それじゃ、夫ができるることはどんなことがあるでしょう。陣痛が始まると奥さんはまともに動けなくなります。身の回りのサポートをしてあげてください。飲み物食べ物を出したり、暑かったら汗拭くとかうちわであおぐとか。あと、マッサージがいいです。マッサージは気持ちを落ち着かせる効果がありますからぜひやって上げましょう。

でもやっぱり一番大事なのは、そばにいることです。手を握って声をかけて「俺がいるから心配ないよ」ということを感じてもらうことですね。夫婦で出産している気持になれば最高ですよね。





よしこの世界一周大冒険！！(賛助会員 杉野美子さんのコラムです)

2018年7月8日から約1年間世界中を旅しています。

2019年2月現在

日本のNOVAで英会話を教えていた先生が帰国してロンドンにいる。奥さんは日本人。久しぶりに会いたくて、訪ねた。お子さんは地元の公立小学校3年生と幼稚園の年中さん。

奥さんが日本のカレーを作ってくれると言うので、ケーキを買ってお昼前に家を訪ねた。ご飯とカレーと福神漬けと日本茶、感激の日本食だった。長い旅行では、日本の家庭料理が無性に食べたくなる。ロンドンの暮らしなど話は尽きず、小学生のお迎えの時間になったので一緒に行かせてもらった。

イギリスでは、学校への送り迎えが10歳になるまで必要で、子供達は1人で学校に行く事が禁止されている。これは国や都市により法律が違う。両親だったり祖父母だったり歳の離れたお姉さんだったり。毎日のことなので保護者同士の交流も見られる。何か驚いたって、キックボード。日本だと道路で乗らないように小学生では指導していた。この小学生では置場がある。自転車置場でなくキックボード置場。学校の行き帰りに子どもたちが乗っている。親は歩きだったりベビーカーを押していたりキックボードだけ先に行くことになる。大人もキックボードに乗っている人が多い。自転車がわりに乗り物として普及している。通勤時間には自転車専用道路を駆け抜けるキックボードをよく見る。観光地ではレンタル自転車よりもレンタルキックボードのほうが多い都市もある。おもちゃでなく立派な乗り物だ。

再会した英語の先生も今は会社勤め、駅までキックボードで行っていたが、たたんで電車に持ち込むのが面倒でやめたらしい。玄関にはお父さんと子ども2人の3台のキックボードが置いてあった。迎えにいって驚いたことがもう1つ、荷物の少なさだ。バックがスカスカ。この学校ではほとんど宿題はないそうだ。教科書もなくノートは学年の終わりに持ち帰るので、何をやっているのかうちの子は大丈夫なのか心配になるとはお母さんの話。去年のノートを見せてもらった。ワークブックにちよこちよこ先生のコメントがある。自分のことを書かせることが多い。低学年からこうやって指導して高学年でのプレゼンテーションにいる力を養うんだと興味深かつた。おやつを食べながら近くの公園で遊んでから帰宅した。これも日本的小学校では見られない。親が迎えに来

るからおやつがあるのね。近くの公園も大きくて驚いた。森があり池があり動物がいっぱいいる。遊具なんていらない。まさに自然の中で遊ぶことができる。自然から四季の変化を感じることができる。

家で子どもたちと遊んでいるうちに、お父さん帰宅。残業はしない定時退社。家族みんなで夕飯を食べた。「美子さん、お風呂一緒に入ろう」と誘われたが笑顔で断り、借りているアパートに帰った。

子どもたちと遊ぶときは英語。へえこんな言い方するんだと遊びながら実践英会話教室。相手によって英語で喋ったり日本語で喋ったりの切り替えがすごい。私が理解していないと思うと、すかさず日本語でフォローしてくれるお姉ちゃんが優しい。

私が帰った後、お姉ちゃんが号泣したらしく送ってくれた動画を見て私もロンドンの地下鉄の中でもらい泣き。

1日お邪魔して、日本のカレーを食べ、学校の様子もわかり、子どもたちと一緒に遊び 奥さんと日本語でおしゃべりして楽しい1日を過ごした。

街ではスケートボードを持っている若者もよく見る。突然ガーッと音がすると思うとスケボーで移動している。ニューヨークの空港では持ち込み荷物でスケートボードを持っている人を見た。

ベビーカーもヨーロッパでは車輪が大きい。石畳の道はスーツケースを引く人も大変そう。バスにはそのまま乗り込む。バスの真ん中あたりにベビーカーを置く場所があり、ベルトで固定する。赤ちゃんが泣いていても嫌な顔をする人はいない。バスを降りるところにベビーカーのマークのボタンがあった。これを押すとベビーカーがおりますよと知らせることになる。大変そうなら周りの人はすぐに手伝う。

私は飛行機や電車の中でも、よく手伝ってもらう。上の棚に荷物を上げるのに、背が届かないことが多い。重い荷物を持ち上げていたら、さっとどこからか手がでてひょいと棚に乗せてくれる。サンキュ、グラシヤス、ダンケシェーンなどなどお礼を言うと笑顔が返ってくる。

街を歩いていると、走り回っては転んでいる子、駄々をこねている子、あれ買ってと叫んでいる子、どこの国も同じだなあと思う。子どもは外国人の旅行者にも興味津々。笑顔には笑顔が返ってくる。子供の笑顔に癒されながら更に【58歳350日世界一周旅行】は続く。

バリス



・お題はサザエさん・

うろ覚え選手権!!



毎月の活動 (その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています)

*内容は変更になる場合もあります、お問い合わせ下さい。

おもちゃサロン 対象：幼児の親子

毎週月・水・金曜日 11時～14時

おもちゃで遊んだり、親同士子ども同士の交流やランチも可能。

2カ所で開催

① 毎週月・水：水戸子どもの劇場事務所

参加費：要会員登録か会員外1回300円

*おもちゃの貸し出しあり

② 毎週金：たまり場「はやま庵」

参加費：無料

*おもちゃの貸し出し無し

ガレッジセール

月1回程度 11時～14時

水戸子どもの劇場事務所＆トレーラーハウス

子どもを遊ばせながら子ども服や雑貨日用品などをゆっくりご覧下さい。

*日程、場所についてはお問い合わせ下さい。

comodo (コモド) 対象：大人

月2回程度 10時～12時

子どもに、子育てに、不安を抱えている家族のサロン
水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F）

手芸サークル 対象：大人

好きなものを持ってきて自由にチクチクしましょう
不定期（お問い合わせ下さい） 事務所にて

参加費：会員無料 一般：300円

*参加希望の方はお問い合わせください。

*保育園・幼稚園の袋物など注文受付中！

室内ゲームの会「On the table」 対象：小1～大人

毎月1回、日曜日（不定期） 10時～15時

水戸子どもの劇場事務所で、カードゲームやボードゲームでたのしく遊びます。参加費：無料

読書サロン ぐるぐるぱっら 対象：大人

毎月1回不定期 10：30～12：00

フィンランドの子育て etc・・・

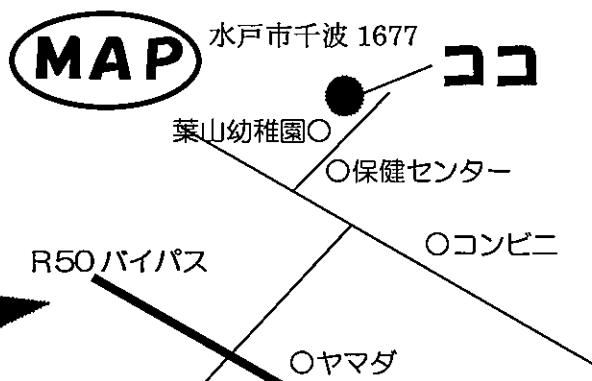
日程、場所はお問い合わせ下さい。

ぽかぽかつといの広場 (水戸市受託事業)

毎週火・水・木・金・土 10時～16時（日・月・祝日閉館）

水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F）未就学児の親子を対象に交流の場を提供しています。毎月講座開催中！ 参加費：無料

（毎週金曜日 10時～12時 保育士による育児相談日）



みとぴよ音楽隊♪ ファミリープラスバンド

毎月5回程度 9時半～12時（対象：大人 子連れOK） 楽器の演奏を楽しんでいます。

依頼演奏もお受けしています！

参加費：要活動会員登録（初回1000円・毎回200円）

*練習場所等についてはお問い合わせください。

ガフの会 毎月読み聞かせ会をしています。

東部図書館 第1・5土曜日 14時～14時半

見和図書館 第3土曜日 14時～14時半

*その他内原イオン内 未来屋書店前でも開催しています。参加費：無料

ウクレレ&ギターサークル♪「ピコ」 対象：大人

場所：事務所

毎月1回程度 10時半～14時（子連れOK）

ゆる～くウクレレやギターを楽しむ会です！

参加費：会員無料、会員外1回300円

*見学できます、気軽にお問い合わせください。

まめっこクラブ 対象：1歳～4歳くらいの親子

毎月第1金曜 10時受付、10：20～11：30

水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F）

申し込み不要・当日参加OK 参加費：300円

ファミリーワークショップ 対象：大人毎月1回不定期

家族のことなどなんでも話しましょう～！

水戸市福祉ボランティア会館（ミオス2F）午前

参加費：会員無料、会員外1回100円

ほっと！HOT！スクウェア

毎週土曜日 15時～16時・毎週火曜日（再15時～16時）

ファミリー情報番組。スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づいた疑問、得た情報を放送中です！

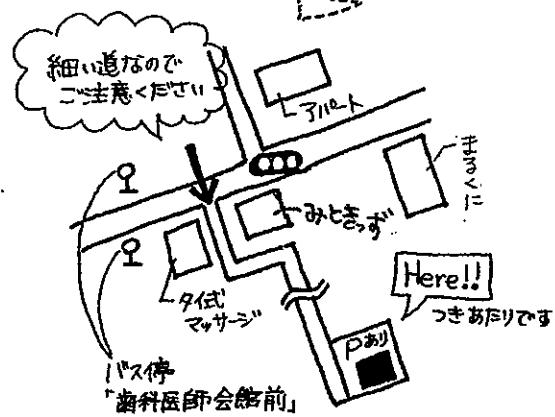
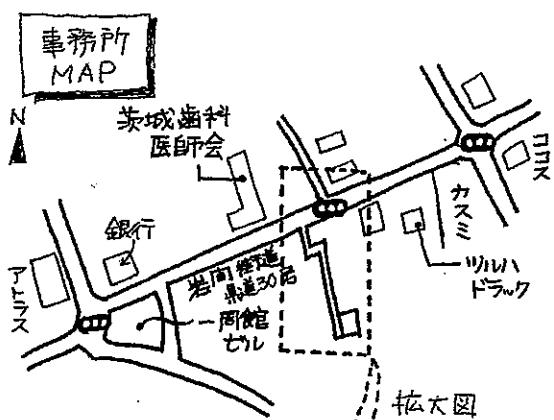
FMIぱるるん 76.2MHz 放送中！

*スポンサーも募集中！

会員募集中！

入会は、子どもから大人まで。

正会員	入会金	500円
	月会費	1,000円
活動会員	年会費	3,000円
登録会員	年会費	1,000円
(大人のみ)	学生無料	
賛助会員	一口	5,000円～



- カスミ側から 1つ目の信号を左折です。
- 駐車場あります(台数に限りあります)

住所: 茨城県水戸市見川2-82-11

<賛助会員の皆さん>

賛助会費も寄付になります。
いつもありがとうございます。

石川クリニック様、河和田幼稚園様、東栄観光開発(株)様、乳がん仲間の小さなおしゃべり会 momo 様、水戸吉沢小児科クリニック様、サンライフ・サンフーズ様、偕行商事様、水戸産業医事務所様、モダンデンタル中庭歯科医院様、東和様、(株)ハース様、雨宮則子様、出澤貴子様、井上多加志様、掛札千聰様、井上瑞穂様、岩田みなみ様、内桶純子様、加藤智明様、河原井忠男様、軍司忠之様、桜井大介様、佐藤光雄様、篠田牧様、杉野美子様、鈴木由尚様、鈴木真紀様、柳橋剛様、田中光彦様、中根昭次様、中根一昭様、野口祥子様、袴塚雅彦様、真家彰様、前河咲子様、森田直幹様、森田大輔様、(株) Mobile Way 久下沼洋子様、砂川光造様、根本麻貴子様、サルワル沙耶佳様、依田明保様、清水謙吾様
(順不同・2月末現在)

●訪問型病児保育のご案内●

水戸市受託事業として水戸子どもの劇場が実施しています。

病気のお子さんを、研修を受けたスタッフが登録のあったご家庭に伺って見守ります。

*登録会を開催しています。日程・詳細についてはお問い合わせ下さい。TEL029-255-0908

★ 寄附は隨時募集しています！ ★

認定 NPO 法人等に寄附をすると、所得税(国税)の計算において、寄附金控除(所得控除)又は税額控除のいずれかを選択して確定申告を行うことにより、所得税の控除受けることができます。

【算式例】 寄附金の額の合計額 - 2.000 円 × 0.4 (40%) = 寄附金控除(所得控除)額

(注)寄附金の額の合計額は、総所得金額の 40%相当額が限度です。

(詳しい減税額は税務署、各自治体窓口にお問い合わせ下さい)

<広告> 随時募集中です

「安心・丁寧」プロにおまかせ！
きれいに住まいる ☺

キッチン・エアコン、
浴室・ガラス他、
店舗・オフィスの
クリーニングも
お任せ下さい！

ご相談、お見積もりは
無料です。
いつでもお気軽に
お電話ください。

029-255-0126
おそうじ本舗 水戸河和田店

中古車購入 衝撃のシステム

- 毎日10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
- オークション出品車両を直接買い付け、お客様にお届けしますので、中間マージンの大幅カットによりとにかく安い！
- 出品票・評価点オープンで厳格な品質チェックにより、安心してクルマをお選びいただけます。
- 1年間無料ロードサービス付き

お気軽にお問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-380
中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店
水戸市河和田町3035-14
営業時間 10:00~20:00 定休日 月曜
吉田石油 50号バイパス・岩瀬街道交差点内

小堀巣美容室
COUTURE
小堀巣美容室クチュール
ヘアメニュー
○新規割引 カット1,000円 off
バーマカラーアート2,000円 off
○学生割引 20%off
住所 水戸市五軒町1-2-5いすゞビル1F
芸術館通り交差点角の全面ガラスの店
電話 029-221-3071
ホームページ <http://www.kbriwao.co.jp>
成人式振袖写真パック 58,800円から
エステ・育毛メニューもあります

お子様は良い『姿勢』してますか？

実は『姿勢』と学力・運動能力・集中力には密接な関係があるんです！
カイロプラクティックでキレイな姿勢取り戻しませんか？

小学生 ご奉仕価格
施術料 1回 1,500円
※初回のみ別途初回料がかかります

見川カイロプラクティックセンター
見川5-155-3 TEL 029-253-3838

無料姿勢レクチャーも随時受付中！
腰痛・肩こりなども詳しくはHP・お電話で

安心と信頼の真心サービス

ソフトQ2車
(そふと・きゅうきゅう・しゃ)

国土交通省免許「関自旅二第1054号」/水戸市消防本部認定「第3号」

こんな時に「ソフトQ2車」がお役に立ちます

- 退院、通院、転院、一時帰宅される時。
- リハビリ・温泉治療などに出かけられる時。
- 空港や駅から自宅などへ寝たまま移動が必要なとき。
- 足の不自由な方が車イスで冠婚葬祭にご参列される時。
- 緊急性の少ない人を有料で搬送するサービスです！

完全予約・受付時間9:00~18:00年中無休
<http://softq2.sakura.ne.jp/>
TEL 029-224-5992

～障がい児の笑顔あふれる毎日を！～

<発達支援教室>

●放課後デイサービス ●児童発達支援事業
一般社団法人「クオリティ・オブ・ライフ」では、障がい児を対象にダンスや音楽療法を中心とした集団活動を行っています。

那珂支援教室 (那珂市飯田)
水戸支援教室 (水戸市中丸町)
赤塚支援教室 (水戸市赤塚)

TEL 029-291-6603

発達支援教室
Quality Of Life
クオリティ・オブ・ライフ

カイロプラクティックで健康 UP!
～ご予約お待ちしています～

石岡市 南台カイロプラクティック
真家智子 電話：0299-27-1028
携帯：090-6134-5835

●施術料：5,000円
(初回 7,000円はこの広告で2,000円割引です)

*カイロは体のゆがみを治して、本来持っている自然治癒力を高める療法です。肩・腰・膝などの痛み、しびれや姿勢が改善して、体が楽になったと喜ばれています。